

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根小涌園新ホテル	階数	地上9F地下1F
建設地	足柄下郡箱根町二ノ平字南長尾1297-2他	構造	RC造
用途地域	第一種低層住宅専用地域・準防火地域	平均居住人員	480人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2014年12月1日
敷地面積	38,618 m <sup>2</sup>	作成者	(株)日本設計
建築面積	3,747 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月1日
延床面積	15,632 m <sup>2</sup>	確認者	(株)日本設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に溢れる喜びがある SENCE OF NATURE を重視し、自然の中に泊まる感覚を味わえるホテルを目指す</li> <li>シンプルだが上質な建築空間、ここだけの自然環境を活かした建築空間の実現</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然公園法を遵守し、周辺の自然と調和した景観を形成</li> <li>既存建物で暗黒となっていた沢を開業とし、周辺の樹木等の自然環境を復元</li> </ul>
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>開口部を極力大きく取ることで、自然採光、自然通風を重視した室内環境を形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開口部を最大限確保することで開放的な客室や共用部(ロビー、レストラン等)を実現</li> <li>客室ごとにTEL、LANを整備し、使い勝手の良い居住空間とする</li> <li>非常用発電設備を設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然公園内の敷地のため、主に環境省が推奨する樹木を使用した自生種主体の緑地づくり。敷地内の高低差に配慮、沢沿いと台地で植栽樹種を使い分け。沢沿いには宿泊客が自然に親しめる散策路や休息所を設置。南東側奥道に面していた車止上の既存建物を解体、斜面林として復元し、県道からの良好な樹林景観を形成。</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新省エネ基準の外皮、庇の採用等により建物熱負荷の軽減</li> <li>LED照明等の設備を採用し、一次エネルギー消費量の削減に配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケルトン・インフィルによる、解体、改修が容易な計画</li> <li>メンテナンス性、耐久性に配慮した材料選定</li> <li>節水型衛生器具の採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内既存林と新規植栽により、蒸散効果のある被覆面積を大きく確保。一部屋上緑化にも取り組み。</li> </ul>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される